

私の夢

遼寧省・阜新蒙古族自治県蒙古族高級中学 高2（男）

白 東齊

私は一人の体の不自由な人です。こんな私は子供の時にはスーパースターになりたいという大きな夢を持っていました。どこに行っても注目を浴びるスターになりたいと思いました。このような人生こそ一番成功した人生だと思っていました。しかし、中学時代のある日、放課後になって、父が用事で学校に来られなくて仕方なく自分で帰ることにしました。私は不自由な人ですから、バスでは立てないのです。ですから、「あのう、すみませんが、席を譲ってくれないですか」とそばの人に頼みました。ところが、その男の人は眠ったふりをして、相手にしてくれなかったのです。最後、おじいさんが助けてくださいました……。

家に着いた後、どうして今の人はいかに利己的なのかと考えました。こうしていけば、将来、私のような不自由な人たちはどう生活していくのかと考え込みました。その後、無事高校に入りました。家が学校から遠いために、初めて親を離れて、寮生活をしなければならなくなりました。車椅子を使っている私ですから、今後一人で高校三年を過ごしていけるかどうかと大きな疑問を持っていました。しかし、入学した初日から校長先生をはじめ担任の先生、クラスの皆様が親の代わりに私を見守ってくださいました。皆は交替で一日三食のご飯を買ってくれたり、トイレまで背負ってくれたりして、皆の熱心な助けで、私は普通の高校生と同じように明るい教室で勉強して暖かい寮に住んでいます。嬉しいことに成績がよいことでエリートクラスに選ばれ、今の私は毎日皆さんからの愛に恵まれて幸せに暮らしています。ですから、皆に愛を与える人間になりたい、福祉事業に力を尽くす人になりたいというのは今の私の夢です。そのために、次のようにしたいです。

まず、福祉協会を作ります。そして、スターや作家などの有名な人の影響力を借りて、社会に向けて、呼び掛けます。そして、協会に入る会員は必ず私心のない人でなければなりません。回りの人たちは何かで困った時にすぐに助けてあげます。

次に、インターネットなどを使って、社会で最も困っている人間を見つけて、募金などを集めたりして、皆で助けてあげるようにします。例えば、あるところで大地震があったら、私たちは一番はやく被災地に行って、被災地の人たちに水や食べ物や服などを送ってあげます。あるいは、みなさんに呼び掛けてお金を寄付します。被災地の人たちの苦しさをできる限り減らします。また、私たちは老人ホームに行つて、老人がもっと楽しく過ごせるようにしたいです。以上のように私たちにできることがたくさんあると思います。これを私たちの責任としていきます。

私の夢は普通の人々は理解できないでしょう、実現しないと思っているかもしれませんが。しかし、自分の努力を通して、必ず成功させたいです。最後に、私は日本が好きで、日本語はそれほど上手ではないですが、私と同じように日本や日本語が好きな人に無料で日本語を教えたり、日本を紹介したりしたいです。そうすれば、お互いのことをもっと理解できる人が増えるでしょう。

もちろん一人の力は弱いです。皆で力を合わせてこそ強くて大きくなります。ですから、できれば将来大学に入って、一つの技術を学んでお金をもうけます。そのお金で協会を経営して、社会に力を尽くします。もちろん、皆様、もしあなたが私と同じ夢を持っていたら、私に連絡してください。この大きな夢を実現するために今から一緒に努力しましょう！